

調査研究の概要

1 調査の目的	1
2 調査の対象	1
3 調査方法と調査期間	1
4 回収状況と分析方法	2

調査結果

1 要介護者本人の調査結果

1) 基本的属性	3
(1) 性別	3
(2) 年齢	3
(3) 病前の職業	3
(4) 収入	3
(5) 住まい	4

2) 本人の日常生活の状況

(1) 日中の過ごし方	5
(2) 苦痛の有無	6
(3) 困っていること、つらいこと	6
(4) 不安や心配	7
(5) やりたいこと	8
(6) 楽しみ	9

3) 介護や社会的サポートに対する

本人の思い

(1) 福祉・医療サービスに対する 満足度	10
(2) 心の支えになってくれる人	11

(3) 介護者の病気の理解度	12
(4) 介護者及び介護に対する 満足度	12
(5) 今後の介護の希望	12
(6) 医療・福祉に対する要望	14

4) 現在の病状等

(1) 病状の安定性	14
(2) 寝たきりになってからの 期間	14
(3) 寝たきりのきっかけ	14
(4) 医療機器の使用状況	15
(5) じょく創の有無	15
(6) ADLの状況	16
(7) ADLの自立度	18
(8) 意志疎通の状況	19
(9) 抑うつ状態	20

5) 現在の日常生活の状況

(1) 食事	20
(2) 入浴・清拭	22
(3) 運動	22
(4) 睡眠	23
(5) 排泄	23
(6) 受診の状況	24

6) 本人の生活快適度と

介護需要度

(1) 生活快適度	26
(2) 介護需要度	27

2 介護者の調査結果

1) 基本的属性

- (1) 性別……………28
- (2) 年齢……………28
- (3) 職業……………28
- (4) 同居者……………29
- (5) 続柄……………29

2) 介護状況

- (1) 介護年数……………30
- (2) 介護交代者の有無と頻度……………31
- (3) 介護補助者の有無……………31
- (4) 介護費用の負担感……………32

3) 介護者の日常生活の状況

- (1) 体調……………32
- (2) 生活の満足度……………33

- (3) 介護上困っていること……………38
- (4) 家族以外の相談者の有無……………42
- (5) 自分の介護に対する希望……………43
- (6) 介護継続の意向と思い……………44

3 社会的サポートの利用状況と要望

- 1) ホームヘルプサービス……………47
- 2) デイサービス……………49
- 3) ショートステイ……………51
- 4) 訪問看護……………53
- 5) 訪問診療……………54
- 6) 入浴サービス……………55
- 7) 給食サービス……………56
- 8) 訪問指導……………56
- 9) ボランティア……………57
- 10) 機能訓練……………58

— 研 究 報 告 —

1 在宅要介護者の社会的サポートの効果とQOLに関する研究

—第1報—……………61

飯 吉 令 枝 佐々木 美佐子 桑 野 タイ子
小野沢 康 子 水 戸 美津子 金 子 史 代

2 在宅要介護者の社会的サポートの効果とQOLに関する研究

—第2報—……………71

金 子 史 代 飯 吉 令 枝 桑 野 タイ子
佐々木 美佐子 小野沢 康 子 水 戸 美津子

学 会 発 表 第28回日本看護学会——地域看護——1997

在宅要介護者の介護における社会的サポートの効果に関する研究……………81

金 子 史 代 飯 吉 令 枝 佐々木 美佐子
桑 野 タイ子 小野沢 康 子 水 戸 美津子

資 料

- 1 調査表……………85